



1月5日新年職員研修会を終えて 惟神記念館にて



発行所: ほかにわ共和国
発行責任者: 志賀 俊紀
編集責任者: ほかにわ広報部



謹賀新年

理事長 志賀 俊紀



初春のお喜び申し上げます。成人になったほかにわ共和国、新たな意気込みで新年を迎え、一致団結して前進する覚悟であります。

年頭のキーワードは「ほかにわなない Only One の実の考察」にしました。実とは一体全体どんなことなのか。

先輩から慈愛の励まし

ほかにわ共和国二十周年記念に御招待いただき、過分のおもてなしをいただきましてありがとうございました。志賀さんの二十年、いやそれ以上の歳月をかけての御努力の結晶を拝見いたしました。志賀(42年放射線育種卒)さんの事は、八雲寮、そして、農園などの施設はお送りいただいた本、新聞そして野菜などの事で少しは存知あげておりましたが、素晴らしい仲間の方々の御支援があった事も初めて知りました。地域の、福祉活動における貢献が如何に大きいかよく理解できました。

ほかにわ共和国、風光明媚な島原の高台、生まれながらに不自由さを持った人たち、その人達に社会で人間として生きる事と自信をつけさせる教育、多年の忍耐を要する事である事もよく理解出来ました。

ほかにわ共和国のすべての施設を特別に見学させていただきました。清潔な環境で働く障害者の方々の真剣なまなざしを肌で感じる事ができました。

今回は御子息常盤さんの送迎など大変お世話になりました。志賀さんによく似た、良い跡継ぎができました。従業員の方々にも大変お世話になりました。おかげ様で私にはとても楽しい、夢の様な有意義な四日間でした。誠にありがとうございました。なお、余談になりますが、志賀さんとは私が合気道の主将、志賀さんが空手道の主将という先輩後輩でもございます。

茨城大学農学部 昭和41年卒業
農学博士 西連寺 剛



一寸したい話
同級生会(口加高校三A会)の会合六十年でこれまでの端数貯金が九万三千百三十円ありましたので、マリア観音に寄付いたしました。

出席された方の顔ぶれを見て、志賀理事長の交流の深さを知った。また、福祉に関わったこれまでの歩みを深く知ることが出来た。記念行事のあと、白木の聖マリア観音ホールでの合唱を聴いたが、大変すばらしい歌声であった。ほかにわ共和国が今後益々発展することを心から願っている。

私が幸村翁から伝授頂いたのは、「葉ではなく盤で、土の状態を示唆していたのです。神道では、昔から、岩や常緑は、永久、変わらず端々しいという意味から、尊敬する人や神、愛する人への寿ぎの思いを込めて使われていたのです。正月ですから、翁の逸話を披露しますと、幸村翁は旧中学から代用教

員となり、努力して訓導に昇格して、一九二四年から一九二六年までの三ヶ年間、加津佐の水月小学校で、学習遅滞児学級を担任していますが、一〇〇年前のことです。

私は法人二〇周年、八幡会から通算いたしますと約六〇年、同じ屋敷の中で関わってきました。よく耳にする「地域共生」とは一体どのような事を示唆しているのか、疑問符を持つ一人です。それは戦前に創設され約十か所の環境を見れば納得すると思います。元々向こう三軒両隣の概念であったのです。その時、先覚者たちは、「嘘」を選ばず「実」を愚直に選んだのです。私も八十歳になり、幸村翁のように「実」を選び、「質実剛健」の愚直さで目指したいと希っています。本年もよろしく願っています。

志賀君が南串山出身で私が口之津なので、小中学校は異なるが、口加高校では一年から卒業まで三年間同じクラスで学んだ。卒業してから六十二年になるが、付き合いはまだ続いている。ほかにわ共和国の第三者委を依頼された際には快く承諾した。



第三者委員 竹下昭平

志賀俊紀理事長と私は、誕生日が同じで昭和十九年四月十六日である。

ほかにわ共和国への思い

特集

二十三年間の楽しい

思い出に感謝



デイ雲を長い間利用されていた相良葵さんが、先月をもって利用終了となり、最後の利用日となった十二月二日、送別会を行いました。

相良さんは島原特別支援学校南串山分教室を卒業後、平成十三年よりデイ雲利用を開始。他の利用者さんからは「あおいくん」と呼ばれ慕われていました。

平成二十九年にお母様を亡くされてから、お父様と二人暮らしでしたが近年お父様の体調不良もあり、将来を見据えて短期入所を利用しながら、自宅を出て新たな生活の場を見つけられていました。



思い出の写真から 相良葵さんを中心に仲間とハイポーズ



在りし日のお母様と成人式のお祝い「加津佐温泉神社」で



私とあなたのエピソード

陸上をしてはいなかったが運動する事が好きな私。ほかにわ共和国に就職後しばらくして、町内の陸上部に誘われました。異動で八雲寮に所属すると、利用者さんも陸上部に在籍されており、陸上に関する行事を任せられました。やってみると利用者さんの方が陸上に関しては経験が豊富で色々な大会にも出られていたり、町内の陸上部の皆さんから声をかけてもらったり、といったことが見られました。

大会では原城マラソンや湯・YOU マラソンなどと一緒に参加する事もあり、時期になると皆さんから大会参加の声が聞こえお互い時間を作っては練習を行います。走る事で汗を流し、ちょっとした世間話や悩みを聞いたりしては、利用者さんも良い気分転換になるようで、練習終わりには「大会頑張ろうね」など気持ちのいい言葉も見られます。大会などで町内陸上部の皆さんに迎ええられる利用者さんを見るのもとても微笑ましく思えますし、時折「マラソンしようよ」と気軽に声をかけてくれる利用者さんを嬉しく思います。

デイ雲 副主任 高松 豊



研修部
光長まゆみ

ほかにわ共和国の動き

- 2月 QC活動発表会
- 3月 理事会
- 4月 辞令交付式

※日時が変更することがあります。

二十周年を迎えた今 第四十八回新年職員研修会

一月五日、第四十八回新年職員研修会が開催されました。理事長の基調講演では、二十周年を踏まえて、管理者の役割や福祉文化の5Kのキーワードなどについて述べられました。続く、八雲寮 志賀常盤施設長の講演では、各事業所がこれらどのように進化すべきかについて考察がなされました。

「二十年を顧みて今後へ継続どう成長していくか」をテーマに各事業所のパネラーがこれからの事業運営の課題と対応についてディスカッションを行いました。午後は「ほかにわ×〇〇」をテーマに



グループ討議を行い、法人が今後取り組みたい活動について多くのユニークなアイデアのプレゼンがされました。その他、事業所ごとの今年の課題と方針の発表、虐待防止についての伝達研修もあり、職員各々が二十周年を迎えた今後のあり方について考える重要な機会となりました。

売りたいか。なう@

ほかにわ共和国八雲寮には、春と秋に地域の特産物を詰めた「びっくり箱」があります。今回はその箱の裏の話をします。組み立てる前の段ボールには、ほかにわ共和国国旗の青色が入っていません。ここを利用者の方に塗ってもらっています。（何度も色を重ねる人、旗の枠を超えて塗る人様々です、これも個性）

塗り終えた段ボールを組んで、底をステープラー止めをして、物を入れる準備ができます。箱もみんなの協力できています。これからもびっくり箱をよろしく願い八雲寮 びっくり箱担当

マイブーム マイコレクション

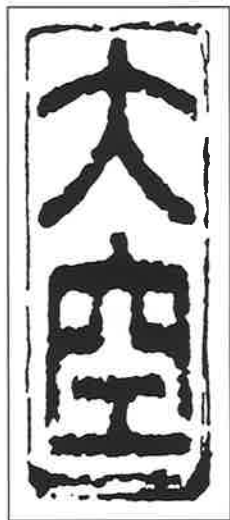
最近のマイブームはジョギングをすることです。高校生の頃は部活が陸上部で毎日走っていましたが、それ以来走ることは少なくなっていました。最近運動不足も気になり始めていたので休日の朝から三十分間ほどジョギングをするようにしています。

もともとと走ることはあまり好きというほどではなかったですが、部活で走り始めるようになったのがきっかけで、走った後の達成感や友達と会話しながら走ったりする、走る楽しさを知ることができ、好きになりました。友達と休日どこか走りに行ったり、マラソン参加したりもしていました。

これからもっと体力も落ちていくと思うので、健康のためにも続けていきたいかなと考えています。



デイ雲柿の木
山下啓人



障害者支援施設
八雲寮広報部



今後の行事
2月
節分
年祝い
小G活動
3月
活動発表会

出会いから発展への期待

施設長 志賀常盤

昨年八月の福岡県出張の際、仕事とは別の所
でひよんな事から、株式会社JR西日本新幹線
テクノスの杉山さんと出会った。それから数カ
月経った十二月、頂いた名刺へ電話したとこ
ろ、会社訪問して良いとの返答とのこと。そも
そも私の目的は、「ささやコール」という介護
用品を、九州大学芸術工学部未来構想デザイン
コースと音響設計コースと共同開発しておら
れ、利用者支援に活用出来るのではないかと興
味津々で連絡したのである。

商品の特長として、疾病や障害の他、加齢に
伴う聴覚の低下は、介護者の負担増となるた
め、大声で話すことなく周りへの影響を与えず
対象者にだけ話すことが出来るという商品。当
施設の夜勤者は、二名一室の巡回時に同室者へ
の配慮が必要となるため、とても有意義な商品
なのである。杉山さんのご厚意で、「ささやコ
ール」を三個も寄贈して頂いた。

翌日、社会福祉法人敬愛会の真田さんと食事
をした際、杉山さんとの
いきさつやささやコール
の話をしたところ、これ
また興味津々な真田さん
に頂いた縁をと、ささ
やコールを一個譲り渡す
ことにした。福祉施設間
が情報発信となり、この
和が広まって欲しい。



杉山浩和さん（左から2番目）

日頃から備えよう！



南島原警察署刑事生活安全課の指導の下、各事業所より
16名の職員が日本防災通信協会提供DVDにて不審者侵
入に対する適切な対応などについて学びました。

視聴後は、侵入者から身を守るため、刺股の有効な活用
方法について実演を交えた講習にも取り組みました。次回
は女性でも対応が可能な護身術を取り入れて、実施してみ
たいと思います。

日常では楽しい生活を送っている施設だからこそ、いつ起こるとも言え
ない事件に備えて、利用者の安全や職員の命を守る
事の重要性を改めて認識することができ、今後も定期的
に実施していかなければと感じました。（白倉）



刺股を使用する講習



開発された「ささやコール」

一年間お疲れ様でした

今年も八雲寮忘年会を開催しました。宮崎功さんの元気な
乾杯から始まった宴会は、美味しい食事を頂きながらカラオ
ケ、職員によるヒゲダンス、抽選会など盛りだくさんな宴会
となりました。職員の出し物には、利用者の方の飛び入り参
加もあり、とても喜んで頂けたようです。普段共に生活をす
る仲間と、日常とは違う場所や環境で過ごすことはみなさん
の刺激にもなったようでした。

今年1年健康で過ごせた事に
感謝し、新たな年がよりいっそ
う楽しい1年になるよう、心か
ら願うばかりです。（濱田）



最後はヤングマンで熱唱♪

卓越したスキルで

工賃アップ♪

生産活動の作業科の一つに加工科があ
ります。年末の出荷では、一部の製品で出
荷量を増やせないかと、取り引き先より要
望があります。

作業科の中で木下さんは唯一、作業工程
をほとんど一人で行えるスキルを持つて
おり、作業科職員の依頼により、作業時間
を延長したり、作業を行ったりしていま
す。しかし、一人で作業を行うのは限度が
あります。

そこで、前工程の作
業をしてくれる相手と
して宮崎さんの登場！
二人で力を合わせ、リ
ビングのテーブルで、
毎日頑張っています。
（中村 要平）



（左）木下さん （右）宮崎さん



がんばらんば宣言

今回ご紹介するのは・・・？



高倉淳雄さん

農芸班で毎日作
業を頑張ってい
ます。
これからも元氣
に過ごします！

じゃがいも雑感！



昨年は法人の二十周年を迎え、今
までを振り返るとデイ雲から始ま
り、ワークネットやはたで就労支援
に携わり、利用者の方たちと作業や
活動を行った。やはた塾を経て、デ
イ雲で放課後等デイの子どもたち
にいろんな事を学んだ。現在、ここ
八雲寮に目を向けると利用者さん
の高齢化は無視できない問題と感
じる。現在元気な利用者さんが毎日
充実した生活が送れているのか？今
後、介助を必要とする方や、時には
車いす支援が必要な方が増えてい
く中で、自分たち職員の支援力も大
事になる。

事業所毎に、対象の利用者さんに
あわせた職員の知識と知恵やアイ
デアで、利用者さんの日常を楽しく
且つ元気に過ごして頂けるように
協力していきたいと思う。

（主任 山本智恵美）

にゅとじゅも

1月号 No.216



笑顔で一年間の締めくくり

令和六年利用者忘年会

令和六年のデイ雲利用者忘年会は、十二月十二日に口之津町の清香にて行われました。

総合司会の担当は森春美さん。理事長と施設長挨拶の後、木場田学さんの乾杯の音頭で会食が始まり、順番に運ばれてくる旬の食材が使われた料理を堪能。

余興の時間は、まずは職員がハンドベルの演奏を二曲披露。直前の特訓？の成果はどうでしたでしょうか。ビンゴ大会では、利用者さん一人ひとりが箱の中から番号の抽選を行い、見事ビンゴになるとたくさんある景品袋の中から好きなものを選ばれていました。

コロナ禍の時のようにおしゃべりを遠慮する必要がなくなったのはもちろん、



昨年は職員が増えたこともあり、とても賑やかな宴となりました。最後は箱田純一さんの万歳三唱で、盛会のうちにお開き。

利用者・職員が一同に会して楽しい時間を過ごす事ができ、令和七年へ向けて新たな節目となったようでした。(小山)

巨大すごろくで初笑い!!

1月7日、体育館の広い空間を使って正月遊びを実施しました。画用紙を一マスとして巨大すごろくを作り、みんなで楽しみました。さいころも



ビッグ!一人ずつ振って出た数を本人が駒となり進みます。

マスに書いてあるお題の例を出すと「早口言葉を言いましょう」。当たった人は「なまむぎなまごみえなみやたまご!!」囃みながらも頑張り、見ていた人たちは大笑い!とても楽しい初笑いとなりました。いつもの正月遊びが、大きくなるだけで楽しさも大きくなるのを発見!来年は巨大福笑いもいいかも!?(荒木)

毎年注目のオペレッタは、これから練習に取り組みます。演目は当日のお楽しみです。

活動発表会の準備が始まりました。二月二十二日の活動発表会に向けて準備を始めました。一年間の様々な活動の成果を披露する大事な日となります。また、今回で二十回目の記念すべき会でもあります。

感謝! はっぴいサポートカタログ

この度、日本生命口之津支社様より「はっぴいサポートカタログ」を寄贈していただきました。これは日本生命様が社会貢献の一つとして取り組まれている活動で地域の社会福祉施設等へ福祉用品の寄贈が行われているものです。

今回、縁があってデイ雲を寄贈先に選んでくださいました。頂いた物品は、今後大事に使用させていただきます。



日本生命口之津支社の岩下様より、利用者代表で山村文美さんが受け取りました

林田卓郎さんは、十二月に二十歳の誕生日を迎えられ、一月十日に三事業所合同で二十歳の祝いを行いました。児童デイの頃から長年利用されており、自宅は千々石町で少し遠いながらも、元気に通われています。今後も花野菜班での作業の他にも様々な活躍が期待されます。



祝二十歳



行事予定2・3月

- ・節分
- ・合同年祝い
- ・活動発表会

※状況により延期・中止になる場合があります。

雲と虹



新年を迎えて、今後デイ雲ではどのような取り組みをしていく必要があるかを考えています。現在デイ雲の活動の中でヘルマンハーブやトーンチャイム、フラダンス等音楽活動を実施していますが、近年発表の場と云えば二月に開催される活動発表会が主であり、外部での披露する場はあまりありません。十一月に久しぶりの外部披露の場として「みんなのフェス」に参加しました。久しぶりの外部演奏ということもあり緊張しながらの演奏でした。

今後は以前実施したことのある支援学校などの慰問を、ヘルマンハーブに限らず行うことで交流を深め、デイ雲での取り組みを知っていただけるような機会を提供できるよう、活動していきたいと思えます。

統括 福田 亮

悠炉里

悠炉里のお正月

〈湧雲荘〉

年末から
楽しみにし
ていた初売
りへ。



一月二日にイオンへ買い物へ行きました。狙っていたのは福袋でしたが、気に入った商品がなく、あえなく断念。それでも福袋代に当てていた金額で欲しい物が買え、満足の様子でした。

新しい年が始まり、今年の利用者さんの方に幸多き事を願う一日でした。
(原川)

スカイハイツ

一月一日、歩いて近くの温泉神社へ初詣。今年が良い年になるようお願いを込めて参拝しました。

「外ホームにいきますように。」

「元気で過ごせますように」

いい縁があるように一五円入れた利用者さんもいらつしやいました。

願いが叶うよう、職員も精一杯支援していきたい

と感じた一日でした。今年も利用者

さんと共に多くの

経験をし、思い出

を作っていくたい

と思います。

(安藤)



～復帰した小G活動～

令和5年はコロナ感染拡大のため、日帰り活動でしたが、令和6年は全面的に復活し、各利用者さんのアンケートを実施しました。すると、北海道から沖縄まで希望があり、日帰り含めて11コースを計画しました。大分、熊本、広島、大阪などの実施したどのコースも利用者さんから楽しかった、もう一度いきたいと大反響を頂きました。



2024年11月21日

令和7年は1月、2月と3月にはまだ行けていない利用者さんの日帰り旅行を予定しています。

しかし、利用者さんの希望や意見を優先するあまり、体力面、金銭面でバランスが悪くなり、皆さんと同じように楽しめないなど意見が多くありました。

利用者さんの日頃みせたことのない、隠れた能力など新しい発見があったり、通常体験出来ない体験したりと楽しい思い出を作ることができました。ふと感じたことに、今年の小G活動はいつもの年に比べ有意義な活動だったと感じます。

今年度も残り3コースの活動についても継続できるようにしたいと思います。
(綾部佐吉)



(竹市)



稲垣荘の事業所の移転

権田地区にある稲垣荘。ホームがこの度、老朽化の為にリフォームされることになりました。それに伴い、年末に4名の利用者さんが友垣荘へお引越し。帰省されている利用者さんもいて、3名の利用者さんと職員で荷物の搬入と掃除を行いました。年末の忙しい時期で気持ちも焦り、頭がパンクしそうでしたが、みんなの協力のおかげで荷物を運び終えました。

稲垣荘の改修が終わったら、またお引越しなので、もう一度皆様、ご協力お願いします。(加藤)



ありがとう、稲垣荘



1月号



行事予定

- ◎小G活動 東京旅行①
1/27 (月)～29 (水)
- ◎年祝い 2/9 (日)
- ◎小G活動 東京旅行②
2/18 (火)～20 (木)
- ◎避難訓練 3月予定

ゆるりと



今年の干支は「巳年」へび年です。

へびが脱皮することから「復活と再生」を意味し、新しいことが始まる一年であり、他、不老長寿や強い生命力につながる縁起のよい動物であると言われています。

G H悠炉里は、稲垣荘をリフォームし、八雲寮の管理下にあった千代垣荘が悠炉里のグループに参入してきます。その為に年末年始は大忙しでした。

悠炉里の利用者さんの中には、高齢者の方から活気ある就労者の方々が各ホームで生活をおこなっています。第一に、利用者さんの意向を聞きながら、住み分けを行うことで、安心して生活ができる環境と、思いのある支援を行うことで、二〇二五年巳年をスタートしたいです。

(統括 井村一美)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 1月号

「強く、優しい職場」を目指して

新年あけましておめでとうございます。

今年は、開所から十九年目を迎えます。「元氣なうちは働きたい」と七十三歳から二十二歳までの、総勢四十三名が元気に利用されています。開所当時から利用されている方が九名おり、その中の一人であるAさんについてご紹介させていただきます。

Aさんは中学校卒業後より利用されて今年で三十七歳になります。母親と二人暮らしでどんなことにも手を抜かず、真面目に取り組む姿があり、仲間からの信頼も厚い方です。自宅では家業である農作業の手伝いも行われており、この冬も馬鈴薯の収穫と忙しい毎日を送っていました。そんなAさんなので、事業所内では誰よりも一般就職ができる力を持っている方だと感じております。しかし、Aさんに希望を尋ねると「今の生活が良い、この生活を続けた

い」と就職を望まれていません。

その理由にはどんなに文字の読み書きや指示された内容を理解し、働けたとしても「仲間から頼りにされる」「仕事を楽しい」と思えることがなければ挑戦していく自信がないと話します。

私たちは特に「自立」就職することと考えます。就職にも様々な形態があり一般企業では働いていませんが「就労継続支援B型」という福祉サービスを利用しながら立派に働いています。私は「自立」とはすべてのことを「自分一人」でこなすことではなく、家族や仲間を頼り、頼られながら自分の役割(仕事)を持ち、安心して生活を送ることではないかと思っています。今後も利用者一人ひとりの「自立」の形に寄り添えるよう職員一同力を合わせていきたいと思っています。

統括 松尾 毒一

今後の予定
・誕生日会
・歳祝い
・やはた共育
大学卒業式

2024 おつかれさまでした

12月14日、町内の飲食店で利用者忘年会を行い、司会の坂本優太さんの開会宣言で盛大に開催されました。美味しい料理を、頂きながら歓談も盛り上がりましたが、一番盛り上がったのは作業班別対抗の付箋落としゲームでした。職員チームも参加し、優勝の景品をかけて各班

ワークネットやはた忘年会



優勝するぞ〜!

の応援の声にも力が入りおおいに盛り上がりました。

今年も、はりきっていきましょう。

(松本)

ワークネットやはたの今日のこの人

今回は「多田 浩志」さんです。

Q趣味は？

「お出掛けをすることです」

Q好きな食べ物？

「炊き込みご飯、カレーライス
さんまの塩焼き、ケーキです」

Q今、欲しいものはありますか？

「福岡ソフトバンクホークスのバスタオルが欲しいです」

年末年始の、帰省では大好きな弟さんとハウステンボスに出掛けられ楽しまれたようです。今年も元気にワークに通ってくださいね。



散歩道

昨年、長崎市内に研修に行く機会があり多くの事を学ばせて頂きました。

今まで、職員数人で研修に行った事はありましたが、一人で研修会場に行くのは初めてで、方向音痴の私は会場に辿り着けるか不安なまま早めに出発。案の定、途中で迷子になり数人の通行人の方に道案内をしてもらいながら無事に辿り着くことができました。意見情報会後には、宿泊先のホテルがわからず、同じ研修にきていた他施設の職員の方が一緒に探してくることに。学ぶこと、他施設の職員との意見交換等、貴重な時間でしたが何よりも人の温かみを感じた研修になりました。

今年の、新年研修会のグループワークで決めた言葉は「挑戦」今年も学びながら失敗を恐れず「挑戦」していきたいと思っています。

(副主任 林田まゆみ)

作業の合間に...

各作業班ごとに初詣に出掛けました。皆さん用意した賽銭を供えしつかりとお参りされました。

今年も健康で

素敵な一年になりますよう

に...

(小笠原)



願いを込めて参拝



美味しい料理に大満足でした。



年賀状抽選会の風景



餅つき



12月28日に、八雲寮、デイ雲、当事業所合同で餅つき会が行われました。

小雨日和の寒い中ではありましたが、利用者の方も沢山参加され、職員の掛け



べったんべったん♪

声のもと杵で餅をつき、今年無事に過ごす事ができたことに感謝しながら餅を丸めて笑顔で楽しみました。

(井上)

『結果発表お〜』



佐賀で開催された QC サークル西
部九州地区『改善活動大会』へ参加し
ました。会場は 300 人程収容できる
大ホールで、発表は全部で6サークル。
柿の木以外の企業は全て製造業
でした。車の部品に関するデータや
専門用語が沢山ありましたが、写真
や動画で資料もまとまっており、分
かりやすい説明は時間を忘れるほど
でした。

私たちの発表は『職員の仕事の不安を減らそう』をテーマに2年越し
で取り組みましたが、分野は違っても抱える困りごとは共通しているよう
で、職員の定着をどうするかに関する内容に共感して下さる意見も聞
かれました。

結果は銀賞!!次年度には九州地区
チャンピオン大会で発表する機会に
恵まれたので頑張ります!! (園田)



会場にて 緊張しましたが、良い経験でした

よくね

新しい仲間が増えました。
美味しい給食をお願いします♡



中岡七海
調理員

ようこそ柿の木へ☆

グループホームの新年会が、南
島原市内の飲食店で開催されまし
た。そこは、入居されている狩野さん
の実家でもあります。ご家族の都合で年末年始の帰省は
できませんでしたが、思わぬ形で帰省に狩野さんはテン
ションアップ。「あそこは〇〇のあつとお」と、一緒に
新年会に参加した職員へ店内の説明をしてくださいまし
た。やはり自宅へ帰ることは、大きな意味をもつことな
んだなと思い、帰省ができない方たちにも、自宅へ遊び
にいける機会をもっと作りたいと思いました。(有江)

帰ってきたばい



司会もこなす狩野さん

みんなで書初め 今年もよろしくね★

今回の販売車両は、完全オー
ダーメイドです。自分達で設計
図を書いて業者に要望を伝えま
すが、なかなか思うように伝わ
らない事もありました。その結
果、販売棚は、棚板のないガラ
ンとした枠だけの完成で正直ビッ
クリ! 棚板には、別途十万円程
掛かる事態です。「十万か」と
頭を抱える私にうちの統括は、
「十万なら、先々を考えて買い
ですね」とさり。「なんだと、
EVに特殊浴槽の修理、積立金
だっと思っていたのに何よ」乱れ
る私に、「十数枚ですよ、買い
かな」とまた平然と言う。「この人
のこういうところ!」と人の七
難が気にかかりながら、「確かに
そうかも」と思えてきたから不
思議。我が十難に目を向けなけ
れば成長なしと銘肝します。

穏やかな天気恵まれて、初春を
迎えました。コロナ禍以降、帰省前
の体調を最優先にして、ご家族とお正
月を過ごす事ができ何よりでした。

他人の七難より我が十難

デイ雲柿の木 所長 原口由紀子



石川画伯作
「巳年」

こんなお弁当の日もいいね!



柿の木では、毎月
1回、『お弁当の日』
を設けています。
普段は、買い物訓
練と合わせて近くの

スーパーへ行ったり、注文して配達して
もらっています。自宅からの持参はもち
ろんOKですが、ほとんどの方が柿の木
で準備を希望されます。

しかし今回は、全員の方を買ってきて
もいいし、手作りでも良いので!と持参
をお願いしました。グループホームの方
たちは、世話人手作りのお弁当を食べる
機会が少ないため、大変喜ばれました。各
ホーム特色あるお弁
当でいつもと違う楽し
みができたようでし。
ご協力いただいたご家
族の皆様、ありがとう
ございました。(恵理)



雲雲荘の手作り弁当♡

言の葉

2月の行事

15日 作業班別活動※

※印は参加費あり

年末年始はありがたいことに、
ゆっくりと過ごすことができま
した。そのため、どこか初売りで
も行ってみようかなと思い、開店
している店舗を検索すると、どこ
も元旦は閉店の文字。そこで思い
出したのが、元旦に大手電化製品
店が初売り、商品を破格の値段で
販売するというチラシでした。

トップが元旦ぐらいは職員に
休みをあげたいという考えなの
か、それとも人手不足なのか、は
たまた働き方改革で難しくなっ
てしまったのか、消費者側からす
ると少し寂しく感じます。

しかし、グループホームなどの
入所系の施設ではそれがありえ
ません。二十四時間年中無休が当
たり前です。そして、そんな労働
環境を望まない人が増えている
のも事実です。そう遠くない未
来、元旦に働いているのは福祉だ
けになるかも、と思ってしまうま
す。全国の年末年始働かれた皆さ
ん、おつかれさまでした。

(恵理)

歴史湛(たた)える港・口之津 ～ルイス・アルメイダ修道士を中心に①

口之津歴史民俗資料館長 松本 昇

はじめに

有明海の入りに位置する口之津は、天然の良港に恵まれている。口之津港は三方を山に囲まれて風をさえぎる地形になっている。しかも遠浅の多い有明海にあって、かなり大きな船が停泊するのに適した水深がある。そうした港を有する口之津では、古くから唐人交易が行なわれ、中国からの交易船が来航していた。今でもその名残りを唐人町や東方という地名に留めている。

16世紀になると、有馬大名の庇護の下、南蛮貿易が行われた。肥前の領主・竜造寺隆信に脅かされていた有馬大名は、ポルトガル人を中心にしたイエズス会宣教師らによる軍事的・経済的援助がほしかった。一方のイエズス会側はキリスト教徒を増やしたかった。お互いの利害が一致したわけである。



島原カトリック教会敷地内に立つアルメイダ

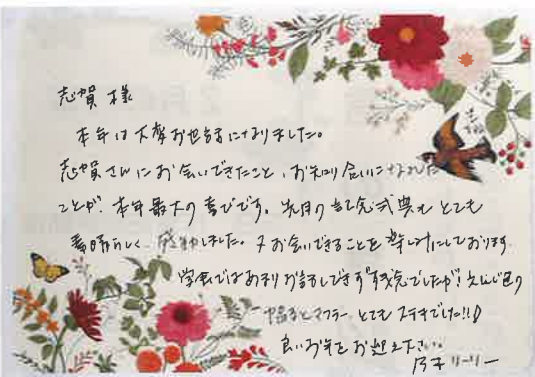


南蛮船の模型

明治時代になってから口之津は石炭の積み換え港として栄えたが、このエッセイでは、口之津の港とキリスト教に関して、とりわけイエズス会修道士ルイス・デ・アルメイダを中心にして論を進めたい。では、なぜアルメイダなのか。思いつくままに、その理由を箇条書きにまとめておく。

1. アルメイダは、布教長コスメ・デ・トルレスの命を受けて、イエズス会修道士として1563(永禄6)に口之津を初めて訪れ、2週間で地元の250人をキリスト教徒にした。その後、南蛮貿易とキリシタン文化が発展するのだが、アルメイダはそのきっかけを作った人物である。
2. 口之津教会の建設にかかわった人物である。
3. インド管区巡察師アレックス・ヴァリニャーノ(イエズス会総長の名代)は、1579年に口之津に上陸した。1580年から81年にかけて豊後、都(みやこ)、下地区で開催した3つの会議を併せて第1回宣教師大会とされるが、そのための予備会議(役員会に相当する)が1579年の後半に開かれた。出席者は5人。その中の1人がアルメイダであった。このことから彼が重要な人物であることがわかる。

これより謎と魅力に包まれたアルメイダという人物像を浮き彫りにしていくのだが、その前に、筆者にとって気がかりな2点、口之津の教会はどこにあったのか、口之津港は何年に開港されたのか、について考えてみたい。(続く)



年末、乃木リリーさんから便りが届きました。

今年の秋が面白くなる
アルメイダに由縁あるモデルで脚本家でプロデューサーの乃木リリーさんと交流が深まり、生誕五百年を記念してフォーラム等などが企画されようとしている。十一月の口之津港界隈は面白くなる。少しだけの情報、リリー+松本館長+志賀+ビッグゲストは内緒です。

福祉文化史で読み解く

ダウン症の研究のため長崎純心大学大学院

後期課程を中途退学して論文博士を目指してから十四年になり、「福祉文化史」という研究のスタイルを編み出して十年を越えたことになる。それは志賀俊紀の資料集がファイルに蓄積されているが、ダウン症関連の論文は十数本になる。しかし完成度の高い査読が済んでいるのは八篇程度で未だ資料の確認がある。その一つが原著との比較である。

私の認識不足かも知れないが、十数年前と現在のGoogleの翻訳ソフトの進化は凄いのがある。それは研究者の論文名が正確に示されておれば検索可能になり、原著の存在と入手が可能になるのである。例えば、イギリスの文豪ディケンズや進化論者でジャーナリストのチェンバースのジャーナルの原本が我コンピュターに現れるのであるが、画像の場合もある。特殊な処理を施せば翻訳が可能になる。地方に住んでいても研究が可能になった環境が醸成されてきたのである。

私の福祉文化研究法の概略を示しておきたい。三つのキーワードの組み合わせからシャドウの三つを焙り出し、更なる要素の背景を検証する手法である。いわばブレンドコーヒーを楽しみながら思いを巡らすことに例えられるのかもしれない。そのテーブルには、専門誌も有れば週刊誌も有り新聞もあるのかもしれない。今重宝に思っているのは、イギリスの文豪ディケンズの「Household Words」の「Idiot's」の記事であるが、裏に潜んでいるダウン症の



イギリスの文豪ディケンズ(1812-70)は、新聞で市民に時の話題や人権問題を作家としてパロディをも込めて問いかけていた。近年、その評価が問われ始めた。

新春の会合で

過日、ロ加ライオンズクラブの新春の会合があり、数年前に四十周年記念があったので、次の五十周年を迎えるにあたって、「チャーターメンバーが会長で式典が挙行できた日本ではない事例となるでしょう。」と発言したのは、昨年ほかにわ共和国二十周年記念式典に参列したメンバー

人権に関する謎解はなかなか困難である。しかし、ダウン症をクレチニズムにキーワードを変換することで、研究の視点が新たになり謎の部分に光を見いだせるのである。

たちでしたが、その理由は、「志賀ライオンはまだ頭がしっかりしているようですから」でした。クラブ会員の中で八十歳を超えているのは創立時から私一人である。この間に二回会長を拝命しましたが、いずれも事情があつたピンチヒッターであつた。本当は幹事職を経験することが必須条件ですが、三回目の例外をサプライズしたい目論見のようです。そのためには元氣印の米寿を目指すことです。有り難い友情に感謝・感動・希望は、「ウイサー 奉仕するライオン」です。

一念三千世界に叶百寿までの壮健